

つけてよかった！住警器【奏功事例】



大切な家族の命を守る住宅用火災警報器
青森消防本部管内の奏功事例を紹介します



○奏功事例1



夕食の天ぷらを揚げるため、鍋に火をかけ調理中に来客があり、玄関先で話し込んでいたところ、台所から警報器の音が聞こえ、台所に向かうと鍋から火が立ち上がっていた。

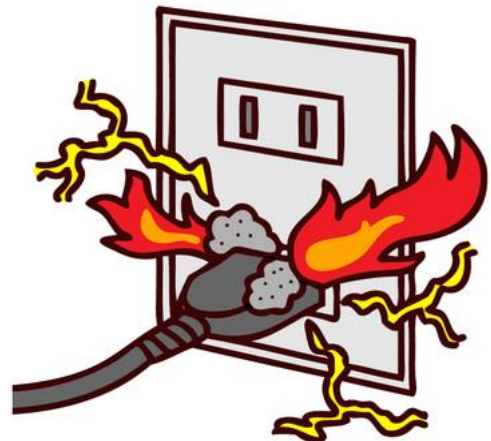
自宅に置いていた消火器で消火した。
ケガ人はなかった。

火災被害 台所の壁が一部焼損
出火原因 ガスコンロの消し忘れ

○奏功事例2

寝室の電化製品のスイッチを入れた後に寝ていたところ、警報器の音で目が覚めると、煙が充満していた。電化製品のコンセントの付近から煙が出ていたため、コンセントを引き抜き119番通報した。

火災被害 コンセント周りの焼損
出火原因 コンセントのトラッキング



○奏功事例3



アパートに住んでいるひとり暮らしの男性が、出勤前にたばこを吸い、吸殻の処理をしないまま外出した。付近を通りかかったアパートの住人が警報器の音を聞きつけると、部屋の中が煙で充満していたため119番通報した。

火災被害 アパート内の壁が一部焼損
出火原因 たばこの不始末

設置後は日頃からの点検が重要です。
月に一度はボタンを押す・紐を引くなどの点検が必要です。
住警器(じゅうけいき)にちなんで、毎月10日に点検してみてくださいはいかがですか？

お問い合わせ 消防本部予防課 017-775-0853

